

①次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化

【令和6年度予算概算決定額 600（250）百万円】

<対策のポイント>

人口減少下における将来の労働力の状況を見据え、生産性の飛躍的向上に必要な**スマート農業技術の開発・改良・実用化**を推進します。

<事業目標>

生産性の飛躍的向上に資するスマート農業の技術開発・改良・栽培体系への転換について、実用化が有望な技術を8以上開発。〔令和8年度まで〕

<事業の内容>

人口減少下においても生産力を維持できる生産性の高い農業を実現するため、**生産現場における技術ニーズを踏まえつつ、生産性の飛躍的向上に資する、**以下のようなスマート農業技術の開発・改良を推進します。

- 現場ニーズが高いものの、技術的障壁が高いため、**開発が遅れている品目・分野における新技術の開発**
- 現場への実装、実用化を加速するための**既存技術の汎用化・低コスト化等の改良**
- スマート農機が稼働しやすい栽培体系への転換 等

<事業イメージ>

機械やソフトの開発や改良

- 現場ニーズが高いものの、技術的障壁が高いため、開発が遅れている品目・分野における**新技術の開発**

(例)



- 現場への実装、実用化を加速するための**既存技術の汎用化・低コスト化等の改良**

(例)



改良



圃場・作物からのアプローチ

- スマート農機が稼働しやすい栽培体系への**転換**

(例)



- まっすぐ立っていない、サイズがバラバラであるため、自動収穫機では収穫ロスが発生
- 産地間で畝幅が異なり、収穫機が入れない
- 育苗方が均一になるような品種選択や栽培管理
- 畝幅を収穫機に合わせるとともに、収穫機がターンする場所も確保

<事業の流れ>

